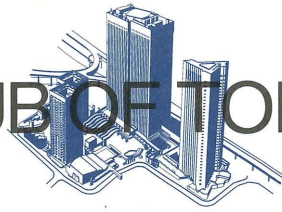




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2000 : ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

「ロータリー2000：活動は一貫、信望、持続」

1999～2000年度・国際ロータリーテーマ／カルロ・ラビッツア会長

「皆のロータリー—新しい発想と実践」

1999～2000年度・東京新南ロータリークラブテーマ／渡部 元会長

本日の例会 8月27日 第621回例会

◎卓話「この国の企業の課題とロータリー」

日本火災海上保険(株) 相談役

東京新橋ロータリークラブ会員 品川 正治 氏

◎第2回クラブ協議会

『会員増強 - 見直そう 人縁、地縁 - 』

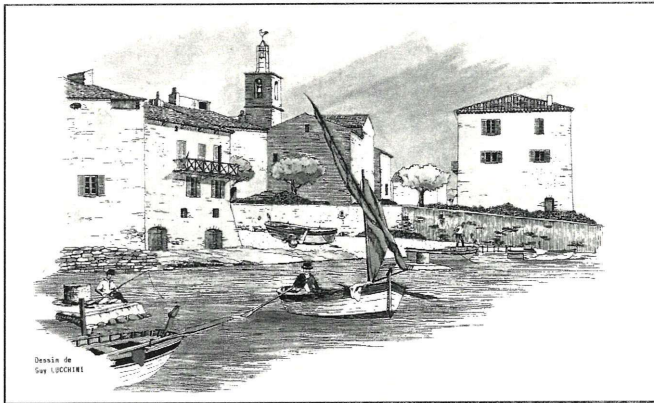
(例会後 13:45 ~ 15:00)

先週報告 8月20日 第620回例会

◎会長報告

コンシニ会員が Rotary Club of ANNECY RIVE GAUCHE (France) とバナー交換をして参りましたのでご報告致します。

メークアップカードもなかなか洒落たものです。



◎幹事報告

千代田区分CグループIM(11/16(火))の会場は学士会館と決まりました。

◎親睦活動委員会報告 (吉岡 委員長)

今年度第1回親睦ゴルフ会が9月18日(土)桜ヶ丘カントリークラブで行われます。9月10日(金)までに事務局へお申し込み下さい。

◎職業分類委員会報告 (大日方 委員長)

職業分類表を改訂致しました。詳しくは、今年度「クラブ活動計画書」をご参照願います。

◎青少年交換委員会報告 (石坂 カウンセラー)

交換留学生につきまして、トルコの地震等の影響で情報が遅れておりますが、日本時間で27日(金)に現地を出発すると連絡を受けております。

◎慶事披露

●誕生日祝／石川 泰啓君(8月18日)、谷 義一君(8月26日)

●100%出席祝／山下 忠治君(10年)、後藤 信夫君(6年)、圓谷 正和君(2年)

◎出席報告

●会員70名／出席48名・欠席22名(出席規定免除者6名)7月平均出席率88.44%

●ビジター4名



8月20日／14件 39,000円

99～2000年度累計354,300円

多額の御寄付を有難うございました。

谷村 義雄／先日は喜寿のお祝有難うございました。
相澤 成憲／先日は誕生祝いありがとうございました。
昨19日66才になりました。山下 忠治／ようやく皆出席10年目となりました。THIERRY CONSIGNY／海外でのメークアップが続き、久しぶりにうちのクラブの雰囲気を楽しんでいます。清原 元輔／イランに日食を見に行ってきた。帰路イスタンブールに立ち寄りました。地震の20時間前に出国しましたが、成田について報道を見てビックリしました。小渡 雅亮／冷房病にご注意下さい。吉田 用親／残暑お見舞い申し上げます。金光さんご苦労様です。西澤 正雄／残暑お見舞い申し上げます。来週は蛍狩りですネ。山川 政樹／毎日おあついです。3週振りの出席、新鮮に映ります。土屋 東一／早く涼しくなりますように!! 鈴木 康一／8/24の暑気払い、参加できず残念です。荒木 昭文／8/17社会奉仕委員会打合わせ時のお釣りで。川鍋 二郎／金光さん、暑い中ニコニコ担当大変ご苦労様です。金光 圭一／本日はニコニコ担当です。御協力有難うございました。

ロータリーレート変更

9月1日より \$1 = ¥115 (現行¥122)

次週予告 9月3日 第622回例会

卓話予定

「親とは何だろう」

俳優・教育評論家 穂積 隆信 氏

国際ロータリー賞と表彰

RIではいくつかの表彰プログラムを提供しています。すでに個人を対象としたプログラムについては紹介をしておりますので(7月30日)、今週号ではクラブを対象としたプログラムをお知らせいたします。

1999-2000年度会長賞

1999-2000年度会長賞は、あなたのクラブの奉仕カレンダーを計画するのに最高の道具です。申請資格を得るには、クラブは1999年7月1日から2000年4月15日までの間に奉仕の四部門の各々において特定の活動を完了しなければなりません。申込書は2000年4月15日までにRI本部に提出されなければなりません。RI会長賞要項(9001A)と会長賞申込書(9001B)は、RI Order Services(電話847-866-4600)から、それぞれ40セントで購入できます。

意義ある業績賞

意義ある業績賞は、一つのロータリー・クラブによって実施された優れた社会奉仕プロジェクトを表彰するものです。申請資格を得るには、プロジェクトは(お金の寄付ではなく)実地の奉仕にクラブ会員の大多数が参加したものであることが必要です。この賞は、1地区につき1つのロータリー・クラブに授与されます。地区からの推薦は、2000年3月15日以前にRI本部で受理されなければなりません。

RI広報賞

RI広報賞は、個々のロータリー・クラブによって行われた優れた広報活動に焦点を当てるために作られたものです。申請資格として、PRキャンペーンは1999年3月15日と2000年3月15日の間に実施されたものであり、外部(ロータリアン以外)の人々を対象にしたものであることが必要です。地区からの推薦は、2000年5月15日までにRI本部で受理されていなければなりません。

2000学年度米山奨学生募集について

(財)ロータリー米山奨学会より「2000学年度募集要項」が届いております。

昨年度募集から各大学が申込書の配布と申込書類のとりまとめをし、当会へ一括送付することになり、ガバナー事務所、ロータリークラブ、ロータリアン経由や個人申込みはできませんのでご注意下さい。

各大学には8月13日頃までに「募集要項・申込書」を送付いたしました。詳細はクラブ事務局までお願いします。

東京新南ロータリークラブ

会長：渡部一元 副会長：西澤正雄 幹事：小杉真史
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL:03-3505-5976 FAX:03-3505-6004
例会日：毎週金曜日 12時30分
例会場：東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL:03-3505-1111

(会員寄稿)

サラーム / 清原 元輔



『サラーム』とはペルシャ語で『こんにちは』の意味です。

1999年8月11日私は、イランのイスファハンに滞在していました。

目的は今世紀最後の皆既日食を見るためです。

今回の日食はニューヨークの東約300kmの北大西洋上で始まり、イギリスの南端プリマスをとおり、

フランスのノルマンディー半島を抜けパリの北30kmの地点を通過します。パリでは99.1%までの部分食です。

そしてベルギーの南端とルクセンブルクの南部をとおり、ドイツのシュツットガルトに到達します。

この間、約20分の時間でイギリスからドイツに到着します。その後オーストリア、ハンガリー、ユーゴスラビアを抜けルーマニアの首都ブカレストにきます。

この間約32分です。次にブルガリアをとおり黒海に入りトルコ北部に上陸します。トルコの都市、シヴァスでは、現地時間14時31分10秒に約2分4秒間の皆既日食が見られます。そして、約30分後にはシリアの北東部をかすめイラクを抜け、私達が待機しているイランのイスファハンに到着します。

現地時間16時32分30秒で皆既時間は1分48秒です。その後この皆既帯は、パキスタンをとおり、インドに入りベンガル湾で地球から離れて行きます。

今回の皆既帯の幅は、狭いところで約49km広いところで約112kmしかありません。皆既日食を見るためには、確実にその場所に予定の30時間前に到着している事が必要とされています。私はなるべく72時間前までに、現地に到着する様に心がけています。体調を現地にならす為と、観測地の状況を自分の目で確かめ、当日の太陽高度と視界の具合を調べるのです。もし、一つでも気に入らない事があれば、50km四方をGPSを携えて、車で走り回り最適な観測地を探し出します。一般論として言える事は皆既日食は辺りなところでおこります。

したがって、現地政府との交渉も時に必要であり、場合により軍隊、あるいは警察の警備を要請します。

太陽、月、地球が一直線に並んだときに皆既日食が出現するのですから、異常な状況がおこります。気温は39℃から33℃へと一気に下がります。光り輝いていた天空が真っ暗になり、星が輝き出します。今回は水星と金星が輝いていました。その中心で黒い太陽がメラメラと深紅の炎を見せながら蠢いています。哑然とする神秘的な世界です。これは、体験した人にしかわかりません。是非一度ご覧下さい。毎回、太陽は違った姿をあらわします。次回は2001年6月21日アフリカで皆既日食がおこります。ところで、今回イランでは、皆既日食の最中は危険だから外に出ないようにとテレビで国民に呼びかけていた様です。

今回の旅行の途中、パリで兼高かおるさん(昔、兼高かおる世界の旅で有名な方)とお知り合いになり、『皆既日食』の本を書く様に薦められてしまいました。

その内に時間を見つけて書ければと思っています。

ではペルシャ語で『さようなら』の意味の『ホダハフェズ』でおしまいとさせていただきます。

<会報委員>

相澤 成憲、福島 賢哉、後藤 信夫、
後藤 完夫、加藤 昌明、清原 元輔、
村山 公士、田中 武、圓谷 正和、
保森 登、吉岡 琢磨、吉田 武